

# 田川市都市計画マスタープラン

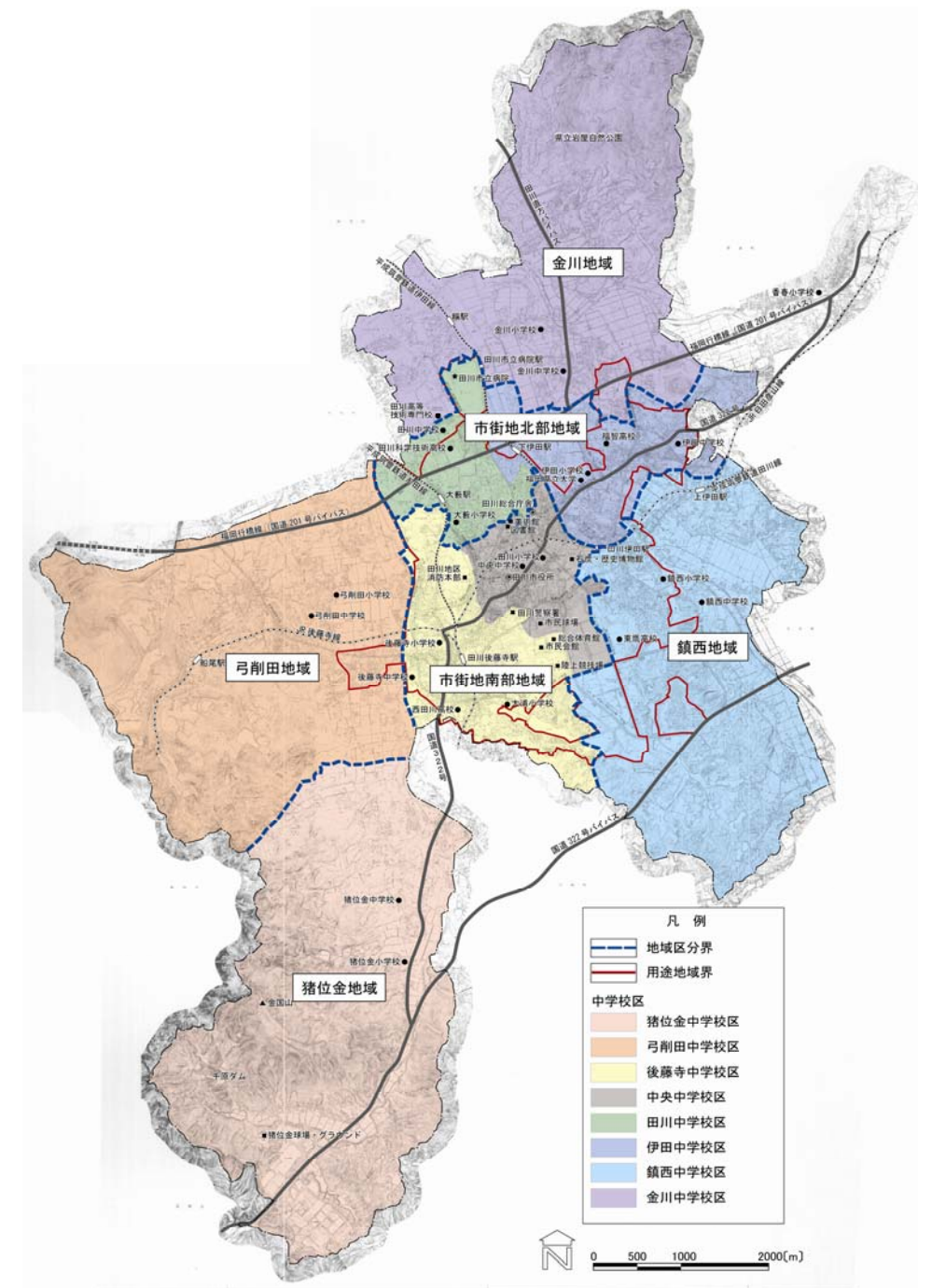
## 第6回委員会資料

### 目次構成

1	住民意向の整理	1
2	地域別まちづくり構想	
1.	市街地北部地域	2
2.	市街地南部地域	3
3.	弓削田地域	4
4.	猪位金地域	5
5.	鎮西地域	6
6.	金川地域	7

平成23年6月10日

田川市



## 1 住民意向の整理

### 1. 市街地北部地域

#### ①土地利用

- ・田川伊田駅周辺については、商店街の活性化や企業誘致によるにぎわいの創出と、市の玄関口に相応しいシンボリックな整備が望まれている。
- ・公共施設の利便性に対する満足度が高く、保健・医療・福祉の充実した地域を望む意見が多い。
- ・緑地を積極的に保全し、緑豊かな地域づくりを望む意見が多い。
- ・商業地については、駅周辺の再整備による商業施設の集積を望む意見が多い。
- ・住宅地においては、静かで暮らしやすい居住環境に優れたまちを望む意見が多い。

#### ②都市施設

- ・鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性を活かしたまちづくりが望まれている。
- ・幹線道路や身近な道路の利用に対する不満は高いものの、道路整備に対する意識は低い。
- ・緑地や公園が不足していることに対する不満が高く、緑豊かな公園や街路樹の整備に対する意見が多い。
- ・歩道の歩きやすさや自転車の利用しやすさなど、安全で快適な歩行者空間の確保を望む意見が多い。
- ・河川沿いの遊歩道整備など、河川を活かしたまちづくりが望まれている。
- ・スポーツや娯楽、レジャーに対する満足度は高い。
- ・老人ホームや福祉センターなどの高齢者福祉施設を望む意見が多い。

#### ③環境・景観

- ・災害に対する不安を持たれている方が多く、建物の不燃化や耐震化による地震や火災に強いまちづくりを望む意見が多い。
- ・街並みに対する満足度は低く、田川市の「顔」に相応しい駅前の街並み景観や街路樹の整備による道路景観の整備が望まれています。

### 2. 市街地南部地域

#### ①土地利用

- ・田川後藤寺駅周辺の商業地のにぎわいに対する要望が高く、商業施設や医療・福祉施設、行政サービス施設、文化交流施設などの多様な利便施設の集積が望まれている。
- ・商業の活性化や企業誘致など働く場所の確保に対する意識が高い。
- ・住宅地においては、静かで暮らしやすい居住環境に優れたまちを望む意見が多い。

#### ②都市施設

- ・地域内の中央公園は市民球場・市民体育館・市民プールなどスポーツ施設が充実しているにもかかわらず、スポーツや娯楽、レジャー施設の利便性に対する不満が高く、地域内における公園利用の格差が生じている。
- ・身近な道路の利用しやすさに対する満足度は高く、道路整備を求める意見は少ない。
- ・子どもたちが身近に遊べる公園の整備を求める意見が多い。
- ・歩道の歩きやすさや自転車の利用しやすさなど、安全で快適な歩行者空間の確保を望む意見が多い。

#### ③環境・景観

- ・災害に対する安心感が高いが、避難場所や防災意識の向上など、地震や火災に強いまちづくりを望む意見が多い。
- ・緑地の保全や公園整備、住宅地の緑化など、市街地内に緑地を確保する意見が多い。

### 3. 弓削田地域

#### ①土地利用

- ・田川後藤寺駅に近接していることから、商業地のにぎわいや機能充実を求める意見が多い。
- ・田川後藤寺駅周辺に対して、医療・福祉施設の充実を求める意見が多い。
- ・買物や医療、行政施設などの生活利便施設の利用に対する不満が高い。
- ・工場などの企業誘致による産業振興を望む意見が多い。
- ・緑や河川などの自然環境や田園環境、集落環境の保全を求める意見が多い。

#### ②都市施設

- ・幹線道路や身近な道路などの車利用に対する満足度は高く、整備の必要性に関する意見は少ない。

- ・都市計画公園やスポーツ公園などの大規模な公園および身近に遊べる公園の整備を求める意見が多い。
- ・公害や生活排水処理などの居住環境に対する意識が高く、下水道整備や環境保全を求める意見が多い。

#### ③環境・景観

- ・災害に対する不安を持たれている方が多く、災害時のライフラインの確保や水害対策を求める意見が多い。
- ・良好な自然景観や田園景観の保全を求める意見が多い。

### 4. 猪位金地域

#### ①土地利用

- ・豊かな自然に囲まれた居住環境に満足している意見が多い。
- ・田川後藤寺駅周辺に対して、医療・福祉施設の充実を求める意見が多い。

#### ②都市施設

- ・公共交通機関の利用しやすさに対する不満が高く、公共交通の利便性の向上を望む意見が多い。
- ・医療・福祉施設や買い物の利用に対する不満が高く、公共交通の利便性に関係している。
- ・河川沿いの遊歩道整備や親水公園など、河川を活かしたまちづくりが望まれている。
- ・老人ホームや福祉センターなどの高齢者福祉施設を望む意見が多い。

#### ③環境・景観

- ・災害に対しては、土砂災害や洪水対策、避難場所や防災意識の向上を求める意見が多い。
- ・良好な自然景観や田園景観の保全を求める意見が多い。

### 5. 鎮西地域

#### ①土地利用

- ・豊かな自然に囲まれた居住環境に満足している意見が多い。
- ・田川伊田駅周辺に対して、市の顔としてのシンボル機能や医療・福祉施設の充実を求める意見が多い。

#### ②都市施設

- ・公共交通機関の利用しやすさに対する不満が高く、公共交通の利便性の向上を望む意見が多い。
- ・医療・福祉施設や買い物の利用に対する不満が高く、公共交通の利便性に関係している。
- ・工場などの企業誘致による産業振興を望む意見が多い。
- ・緑や河川などの自然環境や田園環境、集落環境の保全を求める意見が多い。
- ・老人ホームや福祉センターなどの高齢者福祉施設を望む意見が多い。

#### ③環境・景観

- ・災害に対する不安を持たれている方が多く、災害時のライフラインの確保や土砂災害対策を求める意見が多い。
- ・良好な自然景観や田園景観の保全を求める意見が多い。

### 6. 金川地域

#### ①土地利用

- ・緑や河川などの自然環境や田園環境の保全を求める意見が多い。
- ・買物の便利さに対する満足度が高く、国道201号や田川直方バイパスでの店舗立地によるものと考えられる。
- ・田川伊田駅周辺に対して、市の顔としてのシンボル機能や医療・福祉施設の充実を求める意見が多い。
- ・工場などの企業誘致による産業振興を望む意見が多い。

#### ②都市施設

- ・公共交通機関の利用しやすさに対する不満が高く、公共交通の利便性の向上を望む意見が多い。
- ・スポーツなどができる公園の利用に対する不満が多い。
- ・子どもたちが身近に遊べる公園の整備を求める意見が多い。
- ・老人ホームや福祉センターなどの高齢者福祉施設を望む意見が多い。

#### ③環境・景観

- ・公害や災害に対する意識が高く、土砂災害や洪水対策、避難場所や防災意識の向上を求める意見が多い。
- ・良好な自然景観や田園景観の保全を求める意見が多い。



## 2 地域別まちづくり構想

### 1. 市街地北部地域

#### (1) まちづくりの目標

#### 『多様な都市機能が集積した便利でにぎわいのあるまち』

- 都市拠点に相応しいにぎわいのあるまちの形成
- 福岡県立大学や田川科学技術高等学校などの高等教育施設の立地を活かした、快適でより良い就学環境が整ったまちの形成
- 交通の利便性を高め、安全で快適な居住環境のあるまちの形成
- 河川や緑地、田園を活かしたゆとりと潤いのあるまちの形成

#### (2) まちづくりの方針

##### ①土地利用

- ・田川伊田駅周辺は、都市拠点に相応しい都市機能の集積や商業地の活性化など拠点機能の充実に努めます。特に旧田川東高校跡地は、民間活力の導入など積極的な活用について検討します。
- ・郊外への市街地の拡大を抑制し、利便性の高い市街地を形成するため、駅周辺のまちなか居住を推進します。
- ・大規模工場が集積している川宮地区などの既存の工業団地については、産業・研究拠点として位置づけ、産業活動の振興を図るための環境整備を推進します。
- ・福岡県立大学は、産学官連携による産業・研究拠点として、新たな産業の創出等に向けた取組みを推進します。
- ・広域幹線道路（構想区間）沿いの用途白地（用途地域の指定のない地域）については、開発ポテンシャルが非常に高いことから、将来都市構造を見据えた新たな用途地域の指定や特定用途制限地域などの指定による土地利用の誘導方策を検討します。
- ・新生町周辺の準工業地域においては、住居系・商業系の建物が大半を占めており、現況の土地利用に応じた適正な用途地域への変更を検討します。
- ・鉄砲町から桐ヶ丘にかけての既成市街地は、生活道路等の整備により、利便性や防災性の向上を推進します。
- ・市街地近郊の用途白地は、開発圧力の高い地域であるため、無秩序な市街地拡大を抑制しつつ、計画的な市街地の形成を誘導します。

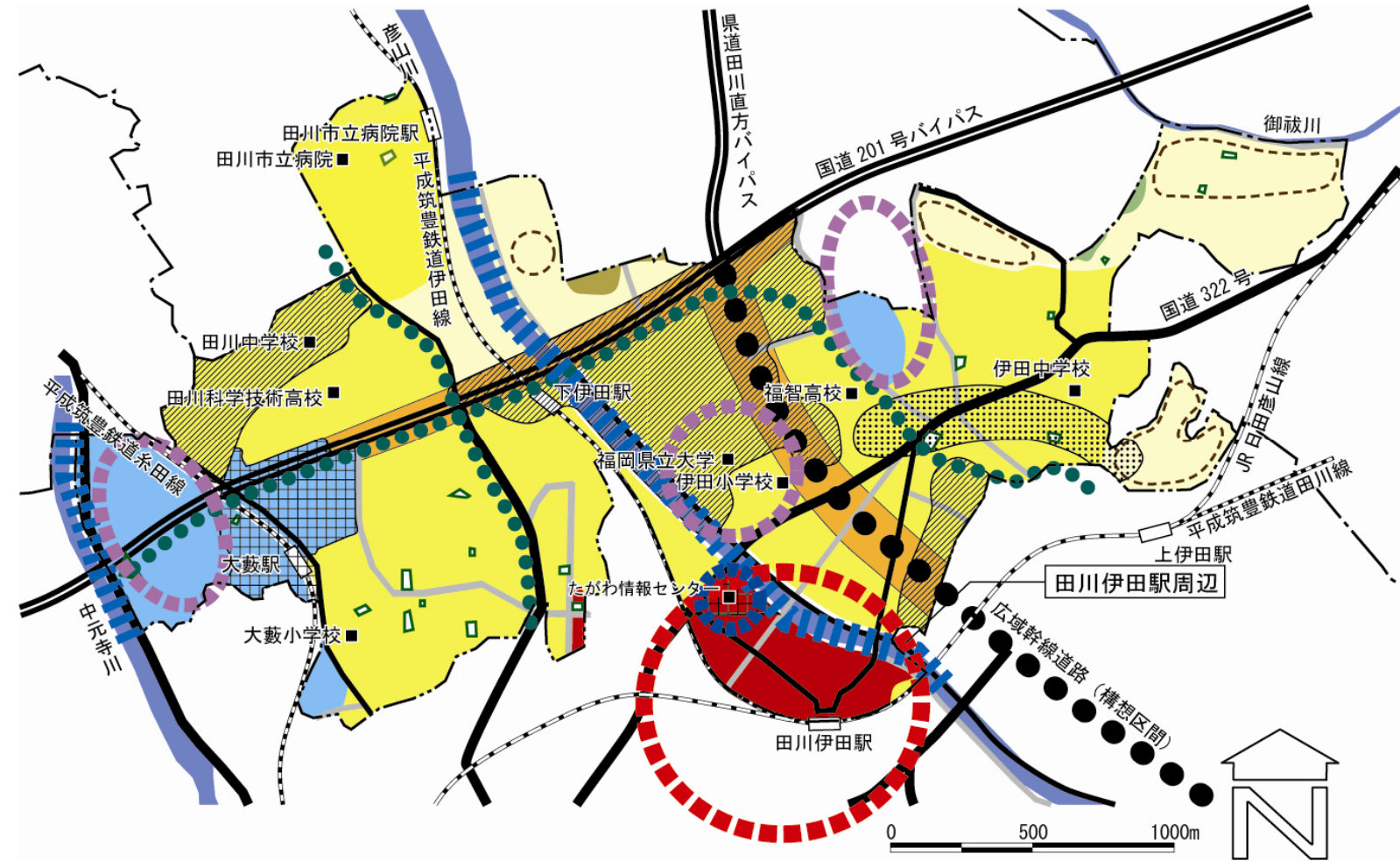
##### ②都市施設等

- ・田川伊田駅は、鉄道・バス・自家用車等の交通結節機能の強化を図るとともに、駅へのアクセス性の向上を推進します。また、駅周辺の駐車場整備や鉄道とバスの連携強化により、公共交通の利用を促進します。
- ・国道201号と国道322号バイパスを南北に結ぶ広域幹線道路の整備を推進します。また、広域幹線道路から市街地中心部へのアクセス道路の整備に努めます。
- ・長期未着手となっている都市計画道路のうち必要性の低い路線については、随時都市計画の変更および廃止の手続きを進めます。
- ・市街地中心部への通過交通の進入防止に配慮しつつ、生活幹線道路の整備を推進します。
- ・良好な居住環境を形成するため、既成市街地を中心に公共下水道や合併浄化槽の整備を推進します。
- ・彦山川や中元寺川については、治水対策、水質改善を図りつつ、親水性の確保に努めます。

##### ③都市環境・景観形成

- ・田川伊田駅周辺は、市の玄関口に相応しい良好な景観形成に努めます。
- ・彦山川、中元寺川については、魅力ある河川環境の創出と、良好な河川景観の形成に努めます。
- ・幹線道路については、街路樹等の設置による美しい街なみ景観の形成に努めます。
- ・公園や河川等を結ぶ歩行者空間の確保に努め、市民が豊かな自然に触れ合える水と緑のネットワークの形成を推進します。
- ・市街地内に残るまとまった重要な緑地については、積極的な保全に努めます。
- ・良好な田園景観が残る郊外の集落については、集落環境の維持・保全に努めます。

◇市街地北部地域の方針図



凡例		
<b>【拠点・軸】</b>	<b>【土地利用】</b>	<b>【都市施設等】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>都市拠点</li> <li>情報交流拠点</li> <li>産業・研究拠点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住居系市街地</li> <li>沿道サービス系市街地</li> <li>商業系市街地</li> <li>工業系市街地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域幹線道路</li> <li>幹線道路</li> <li>生活幹線道路</li> <li>主な生活道路</li> <li>公共施設・学校等</li> <li>開発公園・児童遊園等</li> <li>河川・水面</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水と緑のネットワークの形成(河川)</li> <li>水と緑のネットワークの形成(歩道)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>田園集落地</li> <li>農地</li> <li>山林・緑地</li> <li>新たな土地利用指定</li> <li>集落環境の保全</li> <li>土地利用の整序</li> <li>住環境の改善</li> </ul>	



# 田川市都市計画マスタープラン

## 2. 市街地南部地域

### (1) まちづくりの目標

#### 『歴史・文化を活かした交流と交通環境に恵まれたまち』

- 公共公益施設の集積や歴史・文化を有する地域特性を最大限に活かし、多くの市民が交流するにぎわいのあるまちの形成
- 恵まれた交通条件を活かし、産業活動を行いやすい市街地環境によるにぎわいと活気のあるまちの形成
- 安全で快適に住むことができる居住性に優れたまちの形成

### (2) まちづくりの方針

#### ① 土地利用

- ・田川後藤駅周辺の商業地は、交通結節点としての利便性や立地条件を活かし、都市拠点として都市機能の集積や商業地の活性化など拠点機能の充実を推進します。
- ・郊外への市街地の拡大を抑制し、利便性の高い市街地を形成するため、駅周辺のまちなか居住を推進します。特に、田川後藤寺駅東側については、民有地の積極的な活用を図ります。
- ・田川伊田駅西側周辺は、北側商業地との連携を図りつつ、都市拠点に相応しい市街地整備を推進します。
- ・美術館から市役所までの交流・文化施設が集積する地区およびスマイルプラザ田川は、市民交流拠点として多くの市民が集い交流する施設として整備を推進します。
- ・白鳥工業団地は、産業・研究拠点として、企業立地に適した環境づくりを進め、産業活動の維持・増進や優良企業の誘致を推進します。
- ・石炭・歴史博物館は、歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用を図るとともに、観光交流拠点としての施設整備やアクセス性の向上を推進します。
- ・市民球場や総合体育館、陸上競技場などを含む中央公園については、憩いや語らいの場として、スポーツ等を通じて交流できるレクリエーション拠点としての整備と施設の充実を推進します。
- ・後藤寺中学校周辺の春日町や大黒町、田川後藤寺駅と田川伊田駅間の栄町や平松町、後藤寺商店街周辺等については、生活道路等の整備により、利便性や防災性の向上を推進します。
- ・平岡地区周辺の準工業地域においては、住居系・商業系の建物が大半を占めており、現況の土地利用に応じた適正な用途地域への変更を検討します。
- ・田川後藤寺駅と田川伊田駅間の市道沿いは、近隣商業地域に指定されているものの、現在はほとんど商業利用が行われていないため、用途地域の変更等、都市計画の適正な見直しを検討します。
- ・地域南側の大浦池周辺については、豊かな自然環境の保全に努めます。

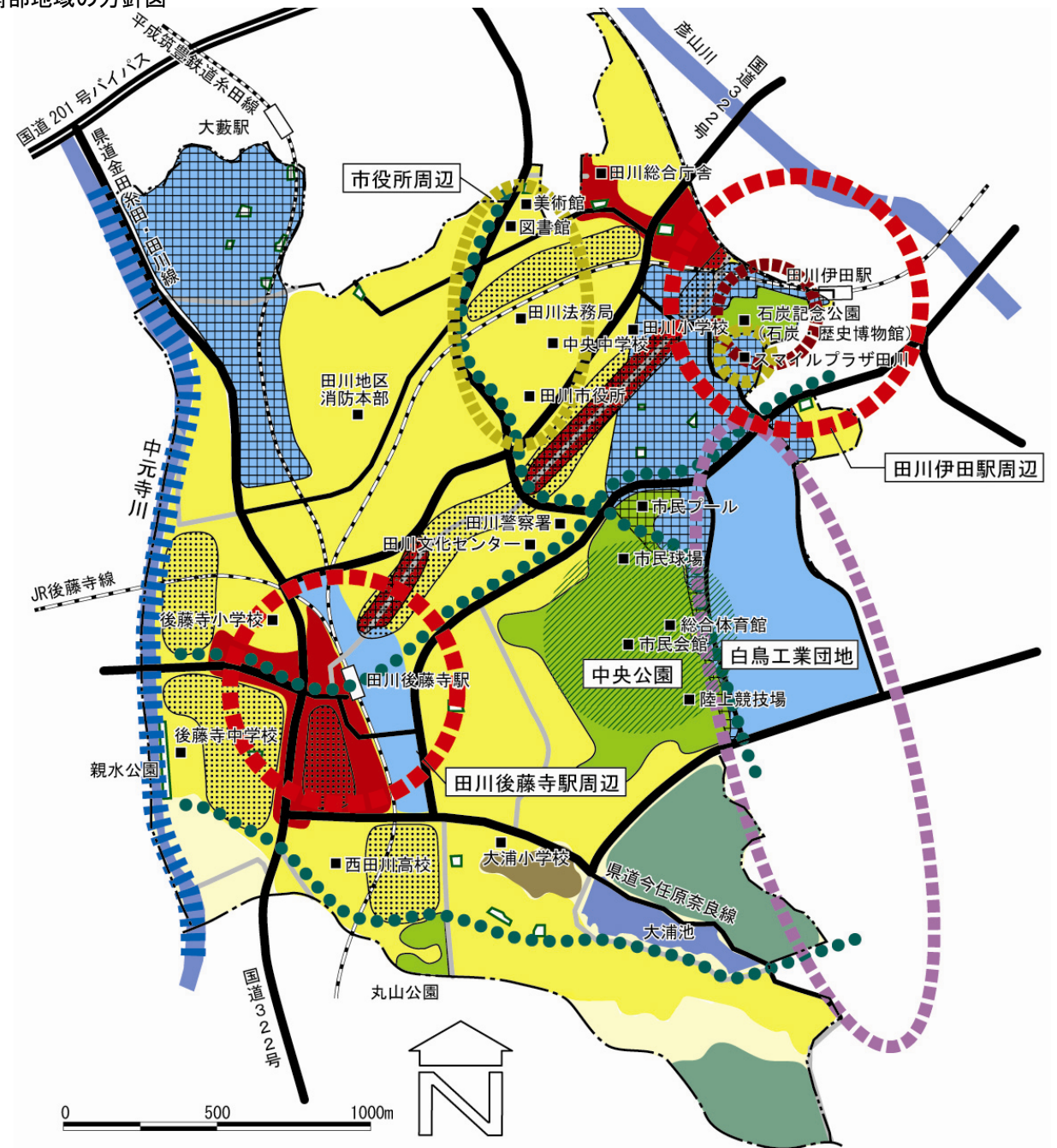
#### ② 都市施設等

- ・田川後藤寺駅は、鉄道・バス・自家用車等の交通結節機能の強化を図るため、駅前広場の整備や駅周辺の道路整備を推進します。
- ・田川後藤寺駅周辺においては、駐車場整備を推進するとともに、鉄道事業者およびバス事業者との連携による公共交通の利用促進を推進します。
- ・地域を南北に縦断する国道322号については、踏切部等での渋滞を解消するため、右折帯設置などによる交差点改良や幹線道路としての機能強化に努めます。
- ・長期未着手となっている都市計画道路のうち必要性の低い路線については、随時都市計画の変更および廃止の手続きを進めます。
- ・市街地中心部への通過交通の進入防止に配慮しつつ、生活幹線道路の整備を推進します。
- ・大浦小学校周辺は、歩道の設置、交差点の改良等により、安全な歩行者空間の確保を推進します。
- ・田川後藤寺駅周辺は、日常的に利用できる小規模な公園の確保や緑道の整備を推進します。
- ・既存市街地内を中心に公共下水道の整備を進め、良好な居住環境の形成に努めます。
- ・中元寺川は、治水対策、水質改善を図りつつ、親水性の確保に努めます。

#### ③ 都市環境・景観形成

- ・田川後藤寺駅周辺は、市の玄関口に相応しい良好な景観形成に努めます。
- ・伊田竪坑櫓と二本煙突は、産業遺産としての位置づけを強化し、その保全と活用を図ります。
- ・中元寺川は、魅力ある河川環境の創出と、良好な河川景観の形成に努めます。
- ・公園や河川等を結ぶ歩行者空間の確保に努め、市民が豊かな自然に触れ合える水と緑のネットワークの形成を推進します。
- ・市街地内に残るまとまった重要な緑地については、積極的な保全に努めます。

◇市街地南部地域の方針図



凡例		
<b>【拠点・軸】</b>	<b>【土地利用】</b>	<b>【都市施設等】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>都市拠点</li> <li>市民交流拠点</li> <li>産業・研究拠点</li> <li>観光交流拠点</li> <li>レクリエーション拠点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住居系市街地</li> <li>商業系市街地</li> <li>工業系市街地</li> <li>田園集落地</li> <li>農地</li> <li>山林・緑地</li> <li>住環境の改善</li> <li>土地利用の整序</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域幹線道路</li> <li>幹線道路</li> <li>生活幹線道路</li> <li>主な生活道路</li> <li>都市計画公園</li> <li>公共施設・学校等</li> <li>開発公園・児童遊園等</li> <li>河川・水面</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水と緑のネットワークの形成 (河川)</li> <li>水と緑のネットワークの形成 (歩道)</li> </ul>		



# 田川市都市計画マスタープラン

## 3. 弓削田地域

### (1) まちづくりの目標

#### 『自然と調和した住宅地と多様な産業が根ざすまち』

- 本市の産業を支えてきた大規模鉱山や中元寺川沿いの大規模な優良農地、県道添田赤池線沿いの工業地など、様々な産業が根ざすまちの形成
- 無秩序な住宅開発を抑制し、自然と調和した住みやすい環境のあるまちの形成
- 中元寺川やため池、山林など身近な自然に親しむことのできるまちの形成

### (2) まちづくりの方針

#### ① 土地利用

- ・用途白地は、用途地域内に比べて開発規制が緩く、開発圧力が高いことから、特定用途制限地域や地区計画などによる土地利用の規制・誘導方策について検討します。
- ・ただし、国道 201 号沿いの用途白地については、広域交通の利便性を活かし、周辺環境との調和に配慮したロードサイド型店舗や事業所等の立地を誘導します。
- ・既存の田園集落地は、無秩序な開発を抑制し、豊かな自然を活用した良好な集落環境の形成に努めます。
- ・地域内のまとまった優良農地は、積極的な保全に努めます。
- ・山林地域と田園地域の境界にあるため池および里山については、自然環境の積極的な保全とともに、自然と共生する集落環境の維持に努めます。
- ・船尾山周辺では、鉱山活動等の産業振興との調和を図りつつ、自然環境の保全に努めます。

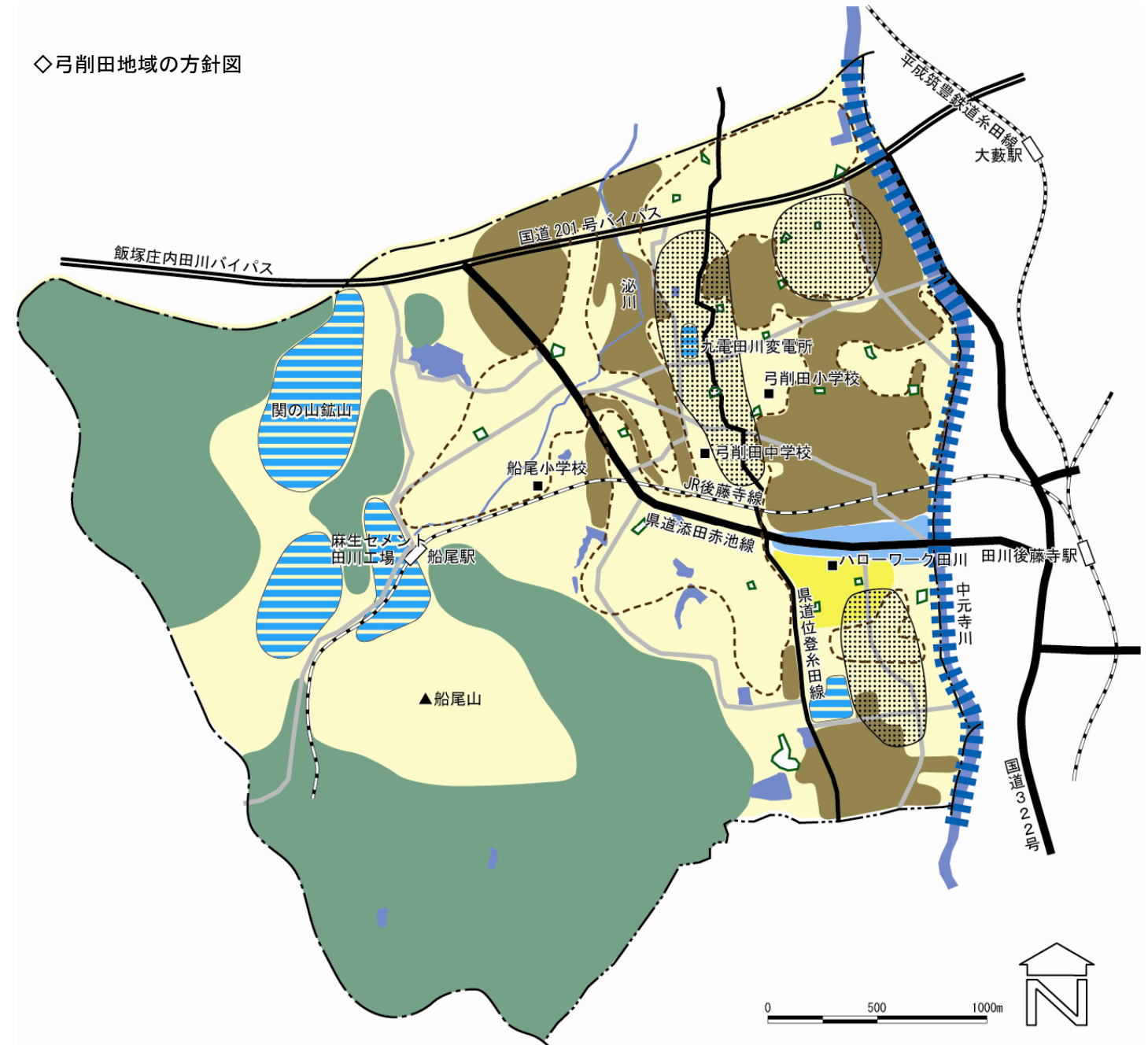
#### ② 都市施設等

- ・主要地方道添田赤池線は、円滑な交通処理と歩行者の安全性を確保するため、道路の拡幅や交差点改良などに努めます。
- ・長期未着手となっている都市計画道路のうち必要性の低い路線については、随時都市計画の変更および廃止の手続きを進めます。
- ・生活幹線道路は、通過交通の生活道路への進入を抑制しつつ、地域の生活基盤として整備を推進します。
- ・居住環境の改善が必要な田園集落地については、狭隘道路の改善を推進します。
- ・地域住民の公共交通手段を確保するため、コミュニティバスなどの導入を図り、住民ニーズへの柔軟な対応に取組みます。
- ・既成市街地やまとまりのある集落地においては、生活に身近な公園の整備を推進します。
- ・中元寺川は、治水対策、水質維持を推進し、親水性の確保に努めます。
- ・市街地内や点在する農村集落については、合併浄化槽の設置を推進します。

#### ③ 都市環境・景観形成

- ・中元寺川は、魅力ある河川環境の創出と、良好な河川景観の形成に努めます。
- ・船尾山周辺は、産業振興を図りつつ、自然環境へ影響を及ぼす公害や災害等の防止に努めます。
- ・船尾山をはじめとする山々の稜線や緑地、河川などの重要な景観要素は、その保全を図りながら、自然と集落が一体となった良好な景観形成に努めます。
- ・良好な田園景観が残る郊外の集落地については、農地などの身近な緑と調和した景観の形成に努めます。
- ・農村集落の過疎化を抑制するため、農業後継者の人材育成や空き家の利用促進などへの取組みに努めます。

◇弓削田地域の方針図



凡例		
【拠点・軸】	【土地利用】	【都市施設等】
水と緑のネットワークの形成 (河川)	住居系市街地	広域幹線道路
	工業系市街地	幹線道路
	郊外工業地	生活幹線道路
	田園集落地	主な生活道路
	農地	公共施設・学校等
	山林・緑地	開発公園・児童遊園等
	集落環境の保全	河川・水面
	住環境の改善	

# 田川市都市計画マスタープラン

## 4. 猪位金地域

### (1) まちづくりの目標

#### 『金国山麓の豊かな自然と農村が共生した美しいまち』

- 金国山、摺鉢山の麓に広がる山林やため池と中元寺川・猪位金川などの豊かな自然と共生するまちの形成
- 水稲や畜産など農業の振興を進め、レクリエーション施設を活かした美しい魅力あるまちの形成
- 集落環境の維持と交通利便性の向上によるスローライフなまちの形成

### (2) まちづくりの方針

#### ① 土地利用

- ・南部にある猪位金球場・グラウンドおよびダム湖・ため池、大法山公園については、相互にネットワークを図り、市民の憩うレクリエーション拠点として施設の充実やアクセス性の向上を推進します。千原ダム周辺は、豊かな自然と触れ合える場所としての活用を検討します。
- ・地域北部および幹線道路沿道は、良好な集落環境・田園環境および自然環境の維持・保全に努めます。
- ・地域内のまとまった優良農地については、積極的な保全に努めます。
- ・国道322号沿いについては、バイパスの全線開通に伴って、産業立地や宅地開発等の需要が高まる可能性もあるため、必要に応じて土地利用の誘導方策を検討し、良好な集落環境・田園環境および自然環境の維持・保全に努めます。

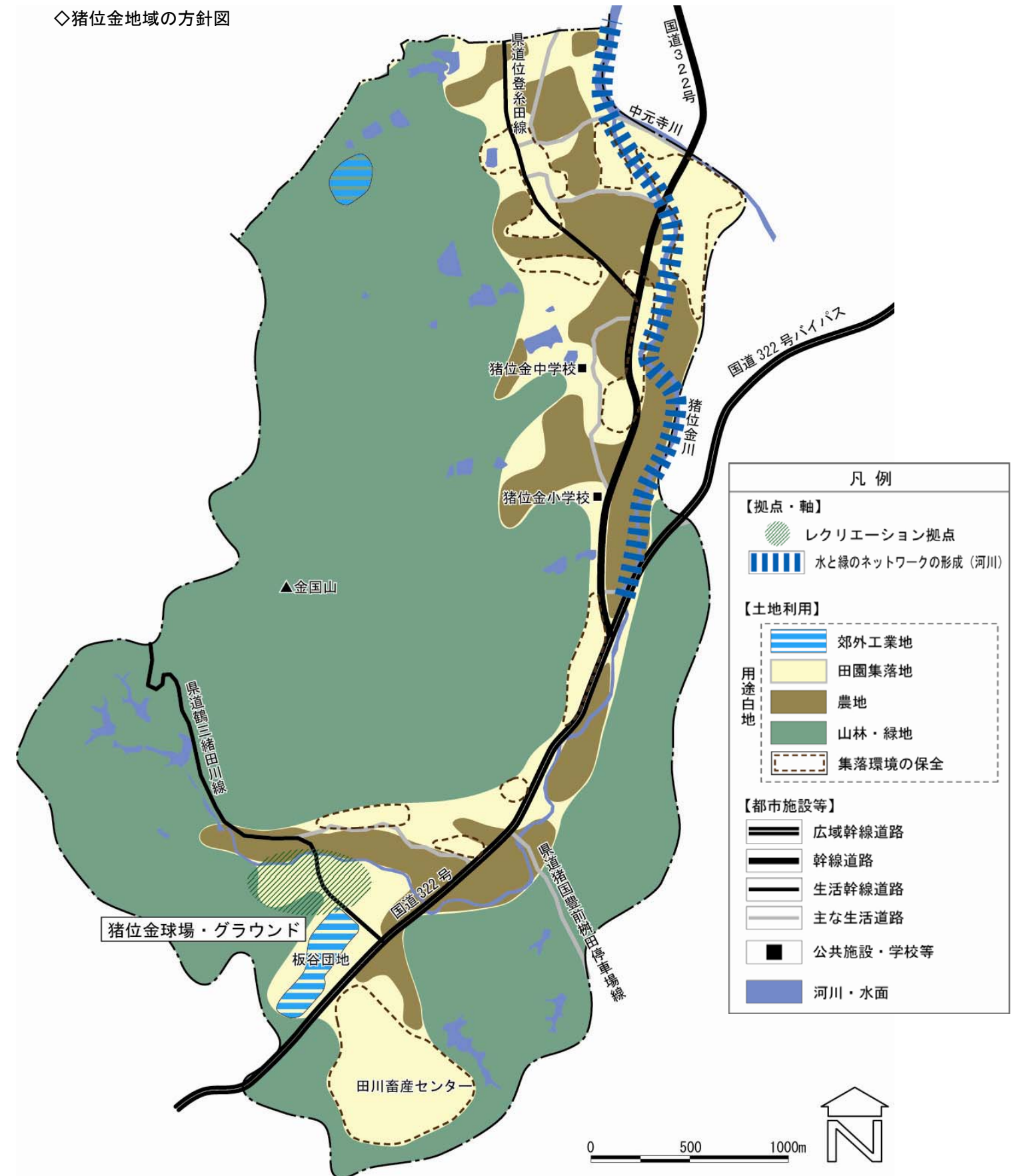
#### ② 都市施設等

- ・生活幹線道路は、通過交通の生活道路への進入を抑制しつつ、地域の生活基盤として整備を推進します。
- ・地域住民の公共交通手段となっているコミュニティバスの効果的・効率的な運行に努めつつ、住民ニーズへの柔軟な対応に取り組めます。
- ・まとまりのある集落地では、生活に身近な広場や公園の整備を必要に応じて検討します。
- ・猪位金川・中元寺川については、治水対策、水質維持を推進し、親水性の確保に努めます。
- ・点在する農村集落については、合併浄化槽の設置を推進します。

#### ③ 都市生活環境・景観形成

- ・中元寺川および猪位金川については、魅力ある河川環境の創出と、良好な河川景観の形成に努めます。
- ・山々の麓や集落の背後にあるため池や里山については、自然環境の維持・保全や多様な生態系の保全に努めます。
- ・金国山や摺鉢山などの山麓に広がる緑豊かな森林が創り出す自然景観や猪位金川沿いに広がる田畑と農村集落が創り出す田園景観などについては、貴重な景観資源として維持・保全に努めます。
- ・昔ながらの良好な田園景観が残る郊外の集落地については、のどかで過ごしやすいスローライフを継続するため、集落環境の維持・保全に努めます。
- ・農村集落の過疎化を抑制するため、農業後継者の人材育成や空き家の利用促進などへの取組みに努めます。

◇猪位金地域の方針図





# 田川市都市計画マスタープラン

## 5. 鎮西地域

### (1) まちづくりの目標

#### 『河川や丘陵地の自然とふれあい豊かな暮らしを実感できるまち』

- 彦山川沿いに広がる田園地帯とのどかな集落環境が広がるまちの形成
- 交通利便性の向上による安全で快適な居住環境が整ったまちの形成
- 彦山川や里山、ため池などの保全による豊かな自然に触れ合うことのできるまちの形成

### (2) まちづくりの方針

#### ①土地利用

- ・田川伊田駅西側周辺は、北側商業地との連携を図りつつ、都市拠点に相応しい市街地形成を推進します。
- ・白鳥工業団地は、産業・研究拠点として、企業立地に適した環境づくりを進め、産業活動の維持・増進や優良企業の誘致に努めます。
- ・石炭・歴史博物館は、歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用を図るとともに、観光交流拠点としての施設整備やアクセス性の向上を推進します。
- ・上伊田駅南側は、里山やため池を有する自然豊かな集落環境を保全するため、無秩序な市街地拡大の抑制に努めます。
- ・国道322号バイパス沿いについては、バイパスの全線開通に伴って、産業立地や宅地開発等の需要が高まる可能性もあるため、必要に応じて土地利用の誘導方を検討します。
- ・彦山川右岸の田園地域は、広域幹線道路（構想区間）の整備推進に伴い、無秩序な市街地の拡大が懸念されるため、計画的な土地利用の誘導を検討します。
- ・大規模な住宅開発によって形成された平原団地は、用途地域を指定し、適正な土地利用の誘導を図ります。

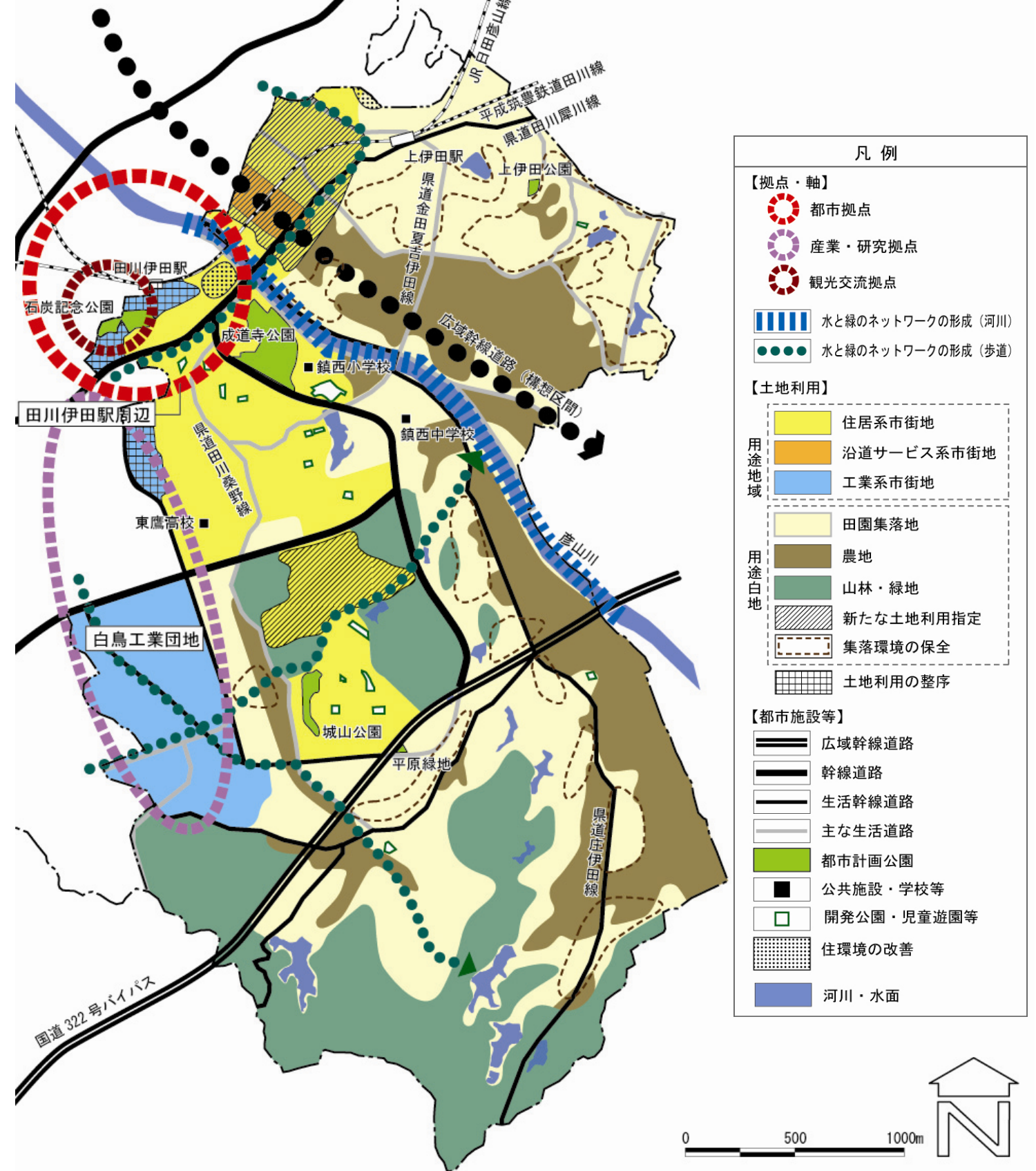
#### ②都市施設等

- ・国道201号と国道322号バイパスを南北に結ぶ広域幹線道路の整備を推進します。また、広域幹線道路から市街地中心部へのアクセス道路の整備に努めます。
- ・長期未着手となっている都市計画道路のうち必要性の低い路線については、随時都市計画の変更および廃止の手続きを進めます。
- ・生活幹線道路は、通過交通の生活道路への進入を抑制しつつ、地域の生活基盤として整備を推進します。
- ・地域住民の公共交通手段を確保するため、コミュニティバスなどの導入を図り、住民ニーズへの柔軟な対応に取組みます。
- ・狹隘道路が多く、建物が密集している既成市街地は、道路整備を中心とした住環境の改善を推進します。特に、上伊田駅北側や田川伊田駅東側は、生活道路等の整備により、利便性や防災性の向上を推進します。
- ・彦山川は、治水対策、水質維持を推進し、親水性の確保に努めます。
- ・良好な居住環境を形成するため、既成市街地内を中心に公共下水道の整備に努め、点在する農村集落については、合併浄化槽の設置を推進します。

#### ③都市生活環境・景観形成

- ・彦山川は、魅力ある河川環境の創出と、良好な河川景観の形成に努めます。
- ・公園や河川等を結ぶ歩行者空間の確保に努め、市民が豊かな自然に触れ合える水と緑のネットワークの形成を推進します。
- ・良好な田園景観が残る集落については、景観や集落環境の保全に努めます。
- ・農村集落の過疎化を抑制するため、農業後継者の人材育成や空き家の利用促進などへの取組みに努めます。

◇鎮西地域の方針図





# 田川市都市計画マスタープラン

## 6. 金川地域

### (1) まちづくりの目標

#### 『産業と田園景観が調和した躍動感あふれるまち』

- 産業・研究拠点や広域幹線道路沿いを活用した躍動感のあるまちの形成
- 彦山川、金辺川沿いに広がる田園環境の保全による産業と田園景観が調和したまちの形成
- 岩屋自然公園周辺のレクリエーション拠点の形成と、彦山川・金辺川や里山、ため池など豊かな自然に恵まれた魅力あるまちの形成

### (2) まちづくりの方針

#### ① 土地利用

- ・田川高等技術専門学校周辺や既に大規模工場が集積している東町工業団地は、産業・研究拠点として位置づけ、産業活動の振興を図るための環境整備を推進します。
- ・県立岩屋自然公園は、土砂災害対策や老朽化した施設の改修・再整備、アクセス道路の整備などに努め、安全で安心して市民が憩えるレクリエーション拠点の形成を推進します。
- ・彦山川西側の丘陵地は、大規模な団地開発や商業施設、工場等の立地によって既に市街地が形成されており、適正な土地利用を誘導していくために用途地域の指定等を検討します。
- ・彦山川西側の丘陵地にある望岳台団地は、空き区画への企業誘致を図り、工業用地としての利用を推進します。
- ・県道田川直方バイパス沿いや国道201号沿いの開発圧力が高い地区は、新たな用地地域の指定や、特定用途制限地域や地区計画などによる土地利用の規制・誘導について検討します。また、広域幹線道路としての沿道利用ポテンシャルを生かし、工場等の産業立地を推進します。
- ・彦山川・金辺川沿いの田園集落地は、優良農地や農村の集落環境の保全に努めます。
- ・金辺川北側に広がる山林地域については、緑豊かな森林や里山、ため池といった良好な自然環境の保全に努めます。

#### ② 都市施設等

- ・生活幹線道路は、通過交通の生活道路への進入を抑制しつつ、地域の生活基盤として整備を推進します。
- ・金川小学校周辺の生活幹線道路では、安全な歩行者空間の確保を推進します。
- ・地域住民の公共交通手段を確保するため、コミュニティバスなどの導入を図り、住民ニーズへの柔軟な対応に取組みます。
- ・彦山川や金辺川は、治水対策、水質維持を推進し、親水性の確保に努めます。
- ・良好な居住環境を形成するため、既成市街地内を中心に公共下水道の整備に努め、点在する農村集落については、合併浄化槽の設置を推進します。

#### ③ 都市生活環境・景観形成

- ・彦山川や金辺川は、魅力ある河川環境の創出と、良好な河川景観の形成に努めます。
- ・河川や公園等を結ぶ歩行者空間の確保に努め、市民が豊かな自然に触れ合える水と緑のネットワークを形成します。
- ・県立岩屋自然公園周辺に広がるまとまった緑地については、積極的な保全に努めます。
- ・良好な田園景観が残る集落については、景観や集落環境の保全に努めます。
- ・農村集落の過疎化を抑制するため、農業後継者の人材育成や空き家の利用促進などへの取組みに努めます。

### ◇金川地域の方針図

